



令和7年度第2回 佐世保PPPプラットフォーム

「学校給食センター建設・運営検討事業」

佐世保市教育委員会
学校教育部 学校保健課

サウンディングの目的

- 本市が学校給食センターの整備を検討する際の様々な情報を収集する。
- 給食センター整備の長所や整備・運用に必要な検討事項やスケジュールについて、皆様から知見をいただく。

(求められている背景)

児童生徒への安定した給食提供

施設老朽化や衛生基準の高度化（食中毒、異物混入防止等）

効率的な運営体制の確立



佐世保市学校給食の現状

○ 完全給食の実施

佐世保市では、小学校44校、中学校24校、義務教育学校2校で 完全給食を実施しています。

○ 調理方式

- ・自校方式 小学校36校、中学校4校、義務教育学校2校
- ・給食センター方式 小学校8校、中学校20校

○ 佐世保市学校給食センター（共同調理方式）

中学校15校と小学校1校の給食を調理・提供しています。

このセンターには、食物アレルギーに対応した専用の調理室を設けています。

○ 今後の方向性

諮問機関である学校給食検討委員会へ諮問し、給食センター化を進めるよう答申を受けています。

ヒアリング事項

給食センターの整備内容を具体化するにあたり、他市の事例をもとに意見交換をお願いします。

■ 給食センター化のメリット

- 調理効率の向上（スケールメリット）
- 衛生・安全管理の標準化
- 人材・設備の効率的活用
- 災害時の拠点機能（備蓄などの事例）

■ 検討事項

- 施設規模・立地（対象校数や輸送距離）
- 設備・機器（衛生基準・維持管理コスト）
- 人材確保（調理員・管理栄養士）
- 運営方式（直営／委託／混合）
- スケジュール（調査→計画→設計→建設→運用）
- 整備手法（DB/DBO/PFIなど）
- 離島への対応

■ 情報共有

- 実務経験に基づく課題・リスク提示
- 最新技術や設備情報の提供
- 他自治体での成功事例の共有

